LB

忙しい毎日に 「生き方」について考える ひとときを vol.4

2016.Nov.





当当

ちかり



### 講師紹介 ====



DAY1



草刈 良允

プロジェクトマネージャー・・・p4

**2** 限目



風間 美穂

クリエイティブ・カタリスト・・・p6

**3** 



池田 真隆

オルタナ S/ 副編集長・・・p8

**4** 限目



小守林 基

日光市役所/職員···p10

DAY2



井田 美沙子

株式会社 LITALICO/ 教育事業本部・・・p 12

**2**限目



高村 和明

HITOTOWA INC./ プランナー・・・p 14

**3**限目



松瀬 萌子

人口 30 人の集落に移住した 23 歳・・・p 16

**4** 限目



武田 昌大

シェアビレッジ / 村長・・・p 18

# 2年目の LiFE BUFFET

参加者、スタッフ合わせた多くの人が様々な生き方、働き方に触れて、考えた2014年11月に初開催した「LiFE BUFFET」のコンセプトは「生き方を歩んでいる。講師、て語り9分という時間はあっという間に過ぎてしまった。しかし、つまみぐいするのは講師の話に耳を傾け、時に自分の想いや悩みについて語り9分という時間はあっという間に過ぎてしまった。しかし、つまみぐいするのは講師の生き方だけではない。その場にいる参加者の生き方もつまみぐいするのは講師の生き方だけではない。その場にいる参加者の生き方もつまみぐいする。人それぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、生き方もつまみぐいする。人それぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、りかし、つまみぐいする。人それぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、りかし、つまみぐいする。人それぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、とき方もつまみぐいする。人ぞれぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、りかし、つまみぐいする。人ぞれぞれみんな違った生き方を歩んでいる。講師、りかし、つまみぐいするの人が様々な生き方、働き方に触れて、考えた2

方が凝縮された1冊となった。 ことなくお届けします。様々なライフストーリーを歩んできた講師の方々の生き今号のフリーペーパーBではその「LiFE BUFFET,15」の模様を余ず 日間だった。

それでは、生き方を考えるフリーペーパーLL、存分にご堪能ください!出す勇気が持てますように。

今これを読んでいるあなたが将来の自分に向けての新しい一歩に少しで

踏み

**作** 

竹内 亨



## プロジェクトマネージャー 良允

変化する働き方

S E D 時、草刈さんは国際青年環境 NGO A りたいことを探したい」と思っていた 動はまた近いうちにやってきます。「や が、 間が空きます。就職活動をしようとリク こで代表を務め、環境問題について取り ともあり大学院への進学を決めました 動に疑問を感じ中断。理系学部にいたこ お店が閉店してしまったことで一気に時 していた草刈さん。しかし、働いていた 大学時代は週6でアルバイトに精を出 大学院へ進学するとはいえ就職活 トスーツに身を包むも現状の就職活 JAPANと出会います。そ

らさらに働き方を変えました。

組むようになります。

ファームで働き、フリーランスとして 社します。しかし自分の思いと会社で けでなく、地域活性の活動などにも関わ 働きました。 N P O i P その後はアルバイトという雇用形態で やることのズレに悩み、一年後に退職。 式会社リクルート住まいカンパニーに入 動をしている方々に出会いました。リク るうちに、リクルー その後、環境問題の解決に取り組むだ ート社の魅力に惹かれた草刈さんは株 ledge や株式会社マイ トの出身で様々な活

ル

1日目の1コマ目は草刈良允さん。

LiFE BUFFET'15、初日のトップバッターは昨年も講師をし ていただいた草刈良允さん。去年の講義からさらに進化した

草刈さんの激動の生き方をつまみぐいしましょう。

そんな草刈さんは 2015 年11月か それまで

> や の真っ只中。新しい働き方に至った過程 籍をしたばかりで、まさに人生の転換期 ジャーとなります。さらに私生活で プロジェクト」のプロジェクトマネー しょうか。 LiFE BUFFET 1の数日前に入 る地域創生のプロジェクト「コクリ イフスタイルがスポンサーになって の仕事をやめ、 その決断の理由はなんだったので 株式会社リクルー トラ も

## 「選ばない選択」 からの変化

だとか。 社員、 テーマや雇用形態に捉われることなく働 すことないようにすべてを受けてきた 必要としている人全て、どれも取りこぼ 結論でした。頼まれること全て、 ていた「選ばないという選択」からきた きたそうです。それは昨年の講義で話し るよう、様々な要望に応えるようにして いてきた草刈さん。多くの人に貢献でき 地方創生、 派遣、アルバイト、フリ まちづくり、若者支援。 -ランス。 助けを 正  $\sigma$ 

こうして頼まれた仕事だけでなく、 ものも出てきてしまった」といいます。 かし、そうしていくうちに抱えきれない 取らないのではなく、あれもこれも。 に答え続けてきた。何かをとって何かを 「とにかく目の前の困って い る人た 自分  $\cup$ 



つめ直しました。まさに2回目の就活。

# 模索して見つけた軸

る。 な働き方を経験してきた草刈さんだから 守っていきたい、応援していきたい。様々 でのサポートが薄い。そんな人たちを に所属していない人は社会保障などの面 作る。そう思っている人のサポー ために役に立つことで生活できる社会を た。「会社に所属していない人も、人の そうして見つかったテーマがありまし というものです。今の日本は企業 トをす

こそ感じたことでした。

自身も回らなくなったため、 働き方を見

悩みぬいたそうです。

サポー るということに気付いたそうです。 フォーマンスを発揮できるし、向いてい してきました。その中で、自分は誰かを ダー また草刈さんは、 ート側に立ったり、色々な役割を果た トする仕事をしている時が一番パ のポジションになったり、 仕事をしている中で

サ

を選びました。 さんは目的を果たすために、新しい仕事 も楽になったそうです。そして今、 す。そのおかげで選択をすることもとて 立つ選択をするようになったとい きたことで、それを成し遂げるために役 の方法が明確になり、働き方に指針がで やりたいことや自分に合っている仕事 草刈 い ま

# 「なんだかんだ、大丈夫」

べ ほしい。他人とか社会とかの周りの反応 が不安定そうだったり、稼ぐのが難しそ ワクすることに出会った時、 丈夫」ということ。やりたいことやワク の多い草刈さんは特にそういう人たちに ぞれ、自分の生き方に悩む人たちは多く はしないでほしい。 きっと正解だから、自分の直感を信じて ません。でもワクワクしたこと、それは うだと不安を感じることがあるかもしれ んが強く思うことは「なんだかんだ、 よく出会うそうです。そんな時、草刈さ います。中でも就活生と多く接する機会 就活、転職、様々なタイミングでそれ 自分が感じたことをなかったことに それに向かって進ん しかしそれ 大

> 誰にとっても絶対にその人に合ったもの でも、 とは、その人のタイミングで出会えるか でワクワクすることに出会えなくても、 なんだかんだ大丈夫だから。 今ま

ありました。 ている草刈さんの言葉には強い説得力が

### 草刈良允 くさかり りょうすけ

1987年神奈川県生まれ。理系大学院卒業後、 (株)リクルート住まいカンパニーに入社。 住宅アドバイザーを務める。1年後、より自 分に合った働き方を模索したいと思い、退社。 「NPO iPledge」や「株式会社マイファーム」 そして「Neighbors Next U26 Project」な ど、複数の組織の運営をサポートするフリー ランスになる。29歳の現在は、さらに働き 方を変え、フリーとしての仕事も続けながら、 地域創生がテーマの「コクリ!プロジェクト」 にフルタイムでコミットしている。



ら。そう、 「大丈夫。」生き様でその言葉を体現 お話してくれました。



### た 新潟県出身の風間さんは、 ジャ 目指したキッカケ ナリストを

美穂

ろからの夢を叶えたものの、その先に希 合っていないという現実に直面。幼いこ

DAYT

ろうと風間さんは当時を思い起こします。 はいつもジャ こっているのか、原因は何か、 だったという風間さん。世界では何が起 を知るのが好きで、 校卒業と同時に地元を飛び出し東京へ向 海岸線の広さが変わり、 を解消したいという感情も、その根底に かいました。 とした不安を抱えたまま、 のような変化が起こるのか…という漠然 化行事も影を潜めるようになり、 たそうです。 など、子供心に環境の変化に疑問を持つ まれた豊かな自然の中で生まれ育ちまし の自然は刻々と変化。 し風間さんが成長していく間 また地域固有の伝統食や文 小さなころから地球のなぞ ・ナリスト魂があったのだ ジャ 裏山もなくなる ナリストが夢 風間さんは高 山や海に囲 積雪量や、 その疑問 なぜこ した。

h」という NPOと、

h i

n k

界のいろいろなことを伝え、世界に変化 分からない。ジャーナリストになって世 が、 社に就職し、夢を叶えた風間さんです を創りたかったのに、 います。仕事は忙しく、 紆余曲折のすえにテレビ番組の制作会 なんとそこで、 どん底に陥ったと言 全然世界と触れ 世の中の動きが

がった先に、 耳にします。今まで出会ってこなかった 達が次々に NPO で働くということ 望を描けずそこで夢を見失い、何をして 人たちと出会い、仲間を通じて世界が広 いいかわからなくなったそうです。 h e しかしその数年後、 想いをつなげる E a r t 風間さんは「T

偶然知り合った

を

するようになりました。 それを運営する株式会社の両方で仕事を そこでの活動は多岐にわ たり、 風 間

援すること」だと語ってくれました。 願いを伝えること。風間さんの仕事は「世 協力しながら、何年も活動を続けていく 国の川や海など水辺を綺麗にする企画。 に携わったエピソードを紹介してくれま の中により良い選択肢を作る人たちを応 げることと、目に見えなく届いていな で、常に心掛けることは人の想いをつ 企画を考えました。多くの人が携わる中 しかも NPO や学生、市民や企業等が の AQUA という新車のキャンペー 事の一例として、 さんの好奇心はまた満たされます。 AQUAの名前にちなんで、 T 0 Y 0 T A自動車 全 仕

そして、 様々なプロジェクトに関わ

## 理想と現実のギャ ップ

風間美穂 かざまみほ 新潟県生まれ。「サスティナブルな社会/世 界を引き寄せたい」と奮闘する方々のサポー トをするため、多様なステークホルダーの間 でクリエイティブやコミュニケーションの橋 渡しをするカタリスト。企業や政府、地方自 治体、NPO/NGO やクリエイターなどの間 を結びながら、"エコロジーとエコノミーの 共存"を目指し、全国各地のプロジェクトが 成就するため、想いのある人を応援するの が生業。2012年からは京都に拠点を移し、 いまは一般社団法人リリースの共同代表と して活動しながら、一般社団法人 Think the Earth ではサポートスタッフとして鋭意活動



ます。 から中小企業、や行政など多岐にわたり 九州から東北まで、 方法は様々。 1つ目は、 いる2つのことを教えてくれました。 クショップを開いたり、 そんな中でも、共通して大切にし サポー 携わる仕事のフィー 応援する人も起業家 トする人や地域や仕 サポ ルド

ます国内外を飛び回るようになったそう。 できる人はたくさんいる」と実感し、ます

大切にしている2つのこと

環境と仲間が整えば、

世界をもっと良く

か

自由な発想を尊重できる価値観と

たことで「得意なことや好きなことを活

多くの異なる立場の人々と仕事を

うか。 にいいことを考えることが、 だけでなく未来にとっても ントだそうです。 の状態まで、長く広い視点で見てみんな えるかどうか。当事者ではなくサポ 事に対して、 る立場だからこそ、 外から自分が関われなくなった後 自分が本当に「いい」と思 全体を俯瞰して今 「いい」かど 大切なポイ

を促すカタリスト (触媒・きっかけ)と

応援したい人たちをサポー

トして

思考や技術を介して、

想い

や変化の前進

現在、

風間さんは、

クリエイティブな

います。 して、

想いを形にできるようアドバイ

スしたり、

各分野のプロフェッショナル

たちに力を借りてものづくりをしたり

そできるサポー 区切りがつくところまで、 と。中途半端に終わらせずに、ある程度 2つ目は、最後までやりきるというこ ・トを探すようにしている 自分だからこ

れまし 風間さんの熱い献身の気持ちが感じら

# 他人をまねするということ

と即答。 身に付けていて良かったことは?」風間 「社会に出たときに、役に立つスキルや、 さんは「真似をする、 参加者の一人から質問がありました。 観察すること。」

ものには、 風間さんは話します。 他人のしていることで良いなと思った 自分の中にない発見があると 良いなと思った時

も

には、 きた風間さんならではのメッセ 風間さん自身も実感しているそうです。 けて貪欲に吸収していくと、 様々な場面で様々な人たちと仕事をして 時にも柔軟に対応できるようになると、 メモしたり質問したりする癖をつ いざという ージで

中。



借金のピンチが、

た。 購入して販売を試みる戦略を採用しまし 団体の仲間たちで一致団結。ある程度ま アフリカにグランドを作ろう!」と学生 ドカップの開催が決定し、勢いよく「南 2年生だった当時、南アフリカでワ 援するという活動をしていました。大学 企画・開催し、その収益金で途上国に支 い日々が続きます。 かじめ 600 個のフットサルボ とまった寄付金が必要になるため、 る国際協力団体を手伝っていたそうで 池田さんは大学時代、友人が運営す しか・ その団体では、フットサルの大会を なかなか思うように売れな あら ルを

係になったそうです。 頼に行くようになり、 アプローチした際、唯一オルタナ(オル 向ヘシフトチェンジ。数々のメデイアに るぞ。」というところまできた時、 フットサル大会を企画するたびに取材依 くれたそうです。それからというもの、 タナSの姉妹メディア)が取り上げて のみの活動から、広報活動に注力する方 「ヤ バ 団体の広報活動をきっかけに、オルタ い、このままでは借金生活にな 担当者と親しい関 販売

ナという雑誌、編集者の業務内容を理解 していった池田さん。 しばらくして担当

> がったそうです。 でスタッフになり、 ないか。」と声をかけられ、大学3年生 新しいメディアが立ち上がるので来てみ 者から「オルタナS という若者向けの そのまま就職に繋

## まずは体感。 言葉の意味はそれから。

世の中にとって良いことである」と自分 フェアト 仕事に取り組む中で、 なりに定義するに至ったそうです。 や組織への取材を通じ、「エシカルとは、 です。けれど無我夢中でオルタナSの るのか全くイメージが湧かなかったそう ルです」と伝えられた時、何を指してい とになった池田さん。「テーマはエシカ 新しいメディアの立ち上げに関わるこ - ドなどの活動を実践する人 ボランティアや、

ことよりも、その言葉が表しているも 田さんは語ります。「言葉を知ってい 方がいい。」と熱心に伝えてください を体感できているかどうかを重要視し 続けてこれたことで得た実感なのだと池 なく体感できていたからここまで仕事を 言葉が分からないところから始め、何と それは池田さんが「エシカル」という の る

# 自分にしかできない仕事

仕事をしている中で、 どうしても業務

度、

います。 そのことを「説明のいらない仕事」と言 まうことがあったそうです。 が単なる作業のようになり形骸化して 池田さんは

うです。 の時、 になってしまっていることに気付いたそ て本当にそれでいいのか。』と一喝。そ たというのは、編集をやってる さ 時、「流行っているから」と答えた池田 プレゼントの理由を上司から尋ねられた ものって思ってるという理由でこれにし とある雑誌のプレゼント企画で選んだ 自分の仕事が、 すると上司から、『みんなが良い 単なる作業のよう 人間とし

れからとい うもの、 〈自分であ れば

> にその視点を忘れないために、 癖をつけるようにしたそうです。 どう思うか〉 を選ぶ際の条件を三つ立てられています。 一つ目に、 あまり世の中に知られてい という視点を常に忘れな 取材対象 また、 常

二つ目に、 社会的意義があるか。

ないか。

三つ目に、 面白いか。

うです。 報を編集・発信することはまさに編集者 がら、世の中が求めていることを探り情 客観的に見直したいという意図があるそ という仕事の醍醐味です。 池田さん自身の〈面白い〉という感覚を 三つ目の〈面白いか〉という条件は、 自分がどう思うかを大切にしな しか

> 務における新鮮さや時には常識を欠いて 醍醐味も〈慣れ〉や〈習慣〉によって業 しまう可能性があると言います。

### 信じて継続することで フォロ ワ を増やす。

した。 らこその苦悩について語ってくださいま さん。一般的な就職活動ではなかったか 偶然の出会いの中で就職を決めた池田

したのでした。

ピンチな時に自分を信じて「まだやれる」 がコンプレックスとなり、 と思うことができれば、 なってしまったんだとか。 こにいていいのかと悩み、 周囲の友人たちと異なる方法での就職 いろんな人に救われてきたそうです。 必ず助けてくれ しかしその都 頭の髪が薄く 俺は本当にこ

> でき、 ピンチな状況でも考えることをやめ る人がいる、 とっての協力者が誰なのか見出すことが かった池田さんは、苦悩を通じて自分に したいと思っていらっしゃるそうです。 体や人間関係をもとにいずれ小説を出版 将来は取材活動を通じて知りあった団 取り組みたい次のステップを発見 と力強く語る池田さん。

送ってくださいました。 一番伝えたいことです。」 さくてもいいからコツコツーつずつ続け 最後に、「自分で思っていること、 いくことを大事にして欲しい。これが そうエー ルを

池田真隆 いけだ まさたか

1989 年東京都生まれ。立教大学文学部文芸 思想学科卒業。大学3年から「オルタナS」 に特派員・インターンとして参画する。その 後、副編集長に就任し現在に至る。オルタナ Sの編集及び執筆、管理全般を担当。企業や NPO などとの共同企画などを担当している。







です。 21 時、 で、これを聞いた参加者も驚きを隠せな 務員の一般イメージと乖離があるよう さ んあり、 22時まで働く日も少なくないそう 労働時間や業務の実態は、 仕事は8時半にスタ

うです。 悔しそうに語りました。 わない習慣が残っている部分もある」と タッグを組むようなことはあまりないそ 割り組織である公務員。 小守林さんは「今の時代にそぐ 例えば、他課と

地方公

がら、 を

# も残っており、

業務が担当別に分かれているため、縦 古いカルチャ 志のある仕事を。 ーに流されない、

> 来やすい緊張感がある。その上、クレー 聞に掲載されたり、 のりづらい面もあるのだそうです。 ムを警戒しての〈前年踏襲〉カルチャ さらに、 ちょっとでも役所が何か起こせば新 外部からの監視の目も厳し 組織として時代の流れに 市民からクレ ム が

面もあるそうです。 をつけるような人は少なく、 強い志をもって働く小守林さんに、文句 年踏襲になることは避けられると言いま 力になってくれるのだとか。 人が多いそうで、 しかし、小守林さんは気持ち次第で前 実際に一緒に働く公務員の方々は、 一度巻き込んだら必ず また、性格が優しい 動きやす

> 仕事に打ち込んでいる姿が浮かびました。 小守林さんが周囲に支えられながら

## 若い職員から 変わっていこうとする動き

最後に、現在の日光市職員の最新状況

うです。 持って仕事に取り組む若い職員もいるそ が残る役所を、 ですが、現在は「まだまだ古いカルチャ から何か起こすことはまずなかったそう が生まれており、可能性を感じていると 転職してやってきた5年前は若い職員 してくれました。 実際に、 打破する」 研修制度や勉強会など という発想を

表され役所が潰れる事例も生まれて 一方で、 最近では〈消滅自治体〉 が 発 いま

話

## 都会から田舎

ちでした。 の洋服も、こだわりの感じられる出で立 で販売業を行っていた小守林さん。当日 もともとアパレルが好きで東京・渋谷

性格もイライラしやすくなっていたと話 感じ始めたそうです。今改めて振り返る 電車に揺られていた6年前、 してくれました。 で働くことがすべてなのか」と違和感を 東京でバリバ ゆっくり休日を取れる余裕もなく、

母のいる日光市を訪れ、 思っていました。そんな時、 面白さを感じられず、 うになったそうです。 の文化や歴史に触れたいとぼんやりと た小守林さんは、 また、

前もって友人たちの予定を調整しておか 役所職員に。 ショックを受けたそうです。 なければいけないことに、 たのだとか。「ちょっと一杯」のために る距離に飲み屋がないというのが辛かっ は慣れない車生活と、 の田舎暮らしがスター 試験に見事合格し、 カルチャ

リ接客を行い ふと「都会 ながら満員

変化の激しい東京で生まれ育っ なかなか街自体の持つ もっと街ならでは 公務員を志すよ たまたま祖

小守林さんにとって初めて 何より歩いて行け 晴れて日光市の市 しました。初め

## 公務員として、 世界遺産を PR する

世界遺産の再認識をしてもらうアプロ 行で日光市を訪れた経験のある方には、 「日光ブランド戦略室」での世界遺産の 施策を検討されています。 世界遺産の魅力を認識してもらうための チを、さらに、広く若者に向けて新たに PR。 ター 現在、 小守林さんの具体的な業務は ・ゲットは2種類あり、 修学旅

かといいます。

のための拘束時間が長いからなのでは り。地味なイメージを持たれるのは、そ ず会場を予約したり、プレスを書い

しかしその多くは裏方業務。表に立た

た

「浅く広く」 だけではだめ。

なんて、 「公務員って17時に帰れるんですか」と の仕事はプロ意識を持ってスペシャリス 体の仕事をしっかり理解しながら、 祉。何を聞かれるかわからない中で、 くる方は多種多様。商業、 さんは笑いながら一蹴。「17時で帰れる いう質問がありました。すると、 トとしてやらなければならない、 司会が聴講者へ質問を募ったところ となると、 ないです 自然にやることはたく (笑)」 観光、 役所を尋ねて と言い 小守林 稅 自身 全 福

感じられました。 加者の背筋も心なしか伸びているように 見据えた発言も。この発言を受けて、 やってくるのではないか」という未来を は、公務員という職種が向かない時代が す。 小守林さんからは「安定志向の方に

### 小守林基 こもりばやし はじめ

1983年千葉県生まれ、東京都出身。大学在 学中にイギリスのブライトンへ中期留学。卒 業後、バックパッカーとして半年間各国を放 浪。帰国後東京のアパレル会社に勤務し、平 成23年に祖母の住んでいた栃木県日光市へ I ターンし、日光市役所の職員に。現在、日 光ブランド戦略室にて、世界遺産「日光の社 寺」の PR 業務などを担当。



# ŧ

決断、選択も自分の感覚に従って迷わず よって些細な自己決定だけでなく大きな

れました。 井田さん自身は大きな

えるようになったのだそうです。 井田さんは日常の小さなことから自分 今日着る服など些細なことについて 他に

と向き合う時間を増やしました。それに 自分の感覚をつかんでいったといいます。 分の今持っている気持ちに敏感になり も同様に考えるようにしていく中で、

できるようになったそうです。

# ワクワクする環境によって

の環境が影響していると井田さんはお話 そんなひとつひとつの学びには、会社



ワクして仕事をすることを念頭に置いて こともあったのだとか。それは常にワク になったりする、そんな環境に自分の身 るおかげなのだそうです。 きに仕事をしている社員と日々接して いる L-TAL-CO の環境や、 くようなチャレンジができていたという を置くことで大きな進歩をしていた、驚 クワクしたり、 そうです。でも、 レンジができるタイプではなかった 「やろう」という気持ち その場にいるだけでワ 前向

田さん自身が提案し、 ら新事業に加わることに。その事業は井 うです。 そんな井田さんは 201 井田さんは 実現したものだそ 6年1月か



躍を遂げています。 という環境の中で日々学び、進化し、

飛

## 「自分の感じていること」 を大切に

分はこう感じている」ということを大切 うのだそうです。 にしていってしまうと苦しくなってしま きない部分があったり違和感をそのまま 納得していない部分があったり、賛同で にして仕事するということ。仕事の中で として送ってくれました。それは、「自 井田さんは参加者の皆さんにメッセ 仕事において大切にしていることを、

感じることをやめないこと。自分の気持 ちを殺さずにいてほしい、 その違和感を放っておかないためには そして、 自分

> り上げてくれたりして形になることも が巻き込まれてくれたり、自分を引っ張 現が難しいと思ったことであっても周り る、と真摯に語ってくれました。 てほしい。そうすることによって最初実 ら、その気持ちを自分で体現して行動し の気持ちをクリアにすることができた

くってくださいました。 してほしいのだと、 番は「自分の感じていること」を大切に れていきます。だから、とにかくまず一 という気持ちも生まれ、 自分の思いが形になると恩返ししよう 井田さんは締めく 良い循環が生ま

### 井田美沙子 いだみさこ

子どもの認知発達の研究に携わった後、大学 院にて臨床心理学を学び、障害をもつお子さ んやご家族のご相談をうける。【持続可能な サポートシステム】を創りたいという想いか ら、2014年(株) LITALICO に入社。現在 LITALICO ジュニア事業部 ペアレントサポー トグループ所属ファシリテーターを担当。



# LITALICO とは?

そんな井田さんが出会ったのは『障害の 障害というものに興味を持ち、その後発 共感し、社員が活躍できる環境に惹かれ 式会社 L-TAL-CO。その理念に ない社会を作る』という理念を掲げる株 んを支援するようになったといいます。 達障害をもつお子さん、またその親御さ いました。大学で学んでいくうちに発達 井田さんは元々大学で教育学を学んで -TAL-CO に就職しました。

提供し、個性が伸びていくような内容の 境の中で、 学習ができる方針がとられているのが特 る問題に対応したそれぞれの解決方法を ます。このように個々の目的、抱えてい さんだったら、合格を目指して勉強をし す。ゲームが大好きでゲーマーになりた 子さんは友達と仲直りする練習をしま たいけれど、できなくて困っているお を解決するというユニークな教育が行わ そこではお子さん一人一人の「困り感」 障害を持つお子さんが多く利用する わります。受験に受かりたいと思うお子 いお子さんはプログラミングの方法を教 れています。例えば、友達と仲直りし 井田さんが関わっているのは、 AL-CO ジュニアという教室。 そんな LITALICO の環 井田さん自身も日々考えを深 発達

小さな選択から

自分の感覚を磨いています。

# 自分と向き合う

るなど、 決める、 思ったそうです。どうすれば自分のやり ど井田さんは、自分のやりたいことが周 が自分の内面と向き合うためにとって その中に「メニューを選ぶときどうして 話題を選んでいただく機会があります。 たいのかどうしてそれを決めたのかと考 決めていたメニューを、 覚を知る訓練として、 分の感情がどのような状態か、自分の感 向き合うことを始めました。その時の さんは小さなことから自分自身の内面 たいことに敏感になるか、と考えた井田 りの人のように、はっきりしていないと 強く持っている人が多いそうです。け 分はあれがやりたい!」という気持ちを た方法でした。井田さんの会社では「自 よって多種多様な選び方がありました。 を決めるという日常の些細な選択も人に 者のみなさんに聞いてみると、消去法で いる?」という話題がありました。参加 使って参加者のみなさんが特に聞きた して頂いた人生の9つのキ これは何の話題かというと、井田さん 講義の中では、講師の方に事前に用意 食べたい味を想像して いろいろ出てきます。 それまで何となく 自分は何が食べ メニュー から決め ħ

からないという人が大多数を占めま 情報発信をしたりしています。 作るプロジェクトを企画したり、 した。「マンションやアパー しかし、

## 人の 「輪」 をつなげる仕事

築マンションの入居者同士のつながりを のコミュニティづくりをしています。新 今の会社で高村さんは、マンション内 地域の

S,

所や地域のつながりの大切さが改めて か。」参加者のほとんどの方が手を挙げ ている方はどれくらいいらっしゃいます 高村さんが参加者の皆さんに質問しま 一方で、東日本大震災以降特に、 隣の部屋の住民の顔もわ トに住まれ





「輪」をつなげることを生業としています。 見直されている今、高村さんは人と人の

## もうひとつの顔

クリー 実践していることは一つのチャレンジです。 両立が難しいといわれる中、 盛んに行っています。そこではビーチ 大変だそうです。 しり埋まる中、子育てをするのはとても GoodDay(グッデイ)での活動も 実際、 め、 ながらエコ」を掲げる NPO 法人 さらに高村さんはNPOでは「遊 NPOの活動をしながら子育て。 ンや植樹をして 土日も仕事や活動の予定がびっ けれどパ います。 高村さんが 会社に

高村和明 たかむら かずあき

1985年生まれ。所沢育ち。2014年より HITOTOWA INC. に所属。建築、環境問題 イベント企画運営の知識やスキルを活かし、 ネイバーフッドデザイン、CSR コンサルティ ング、ソーシャルフットボールの現場統括を 担当。普段は楽しく、緊急時には助け合える 関係づくりを目指すネイバーフットデザイン では、入居者向けのイベントやアクティビ ティを担当。入居者同士の信頼関係を構築す るお手伝いをし、マンションライフをよりよ いものにする取り組みを進めている。

HITOTOWAINC.

### 2日目の2コマ目は高村和明さん。 高村さんは1歳のお子さんを育てながら、NPOと企業で 働くという、2足のわらじを履いています。お子さんも 育てながら働く高村さんからは、子育てとの両立や働き 方についての夫婦の会話など、男性からはなかなか聞け ない「生活と仕事」をテーマにしたお話を聞くことがで きました。 仕事もプライベートも両方を大切にしようと実践してい る高村さんのお話は興味深いものでした。 HITOTOWA INC./ プランナー 高村 和明

たり、 うです。

そんな状況での転職は不

ŧ

家も買った

す。 躍する人たちの先駆者的な存在となりま 5 村さんの姿、働き方は大きな影響力を持 として、そして親として日々奮闘する高 プライベートを犠牲にする人が少なくな なっています。晩婚化のすすむ日本では 事、保育園の送り迎えなども進んで行 えも感じながら、任せきりにはせずに家 とをためらう人もいるそうです。 く、余裕がなくて結婚や子どもをもつこ 他の人の勇気となり、 会社員として、 NPOのスタッフ 同じように活 そんな

るく話してくれました。 毎日が楽しい挑戦だ、 と高村さんは明

# 大学生活が今につながる

一年の浪人を経て大学に入った高村さん 三年間ではサッカーに青春を捧げます。 さんは元気なサッカー少年でした。高校 お話してもらいました。学生時代の高村 始めに、高村さんにこれまでの経歴を

影響を受けたりと、 なったり、様々な人との出会いに大きな に世界を広げていったそうです。 のだとか。それでも勇気を振り絞り徐々 のかと思いきや、実はもともと人見知り た人とは様々な話をしたといいます。 ごみ拾いに行ったり、ボランティアをし 勢の社会人に混ざって富士山のすそ野に は様々な活動に参加しました。 はしない、 ぎてしまう。 り、周りを見ると年下の同級生。浪人を いうもの。というのも同級生が先輩とな しまおうと思えばそれで楽しく時間が過 していた一年間を思い、 もともと活動的で、 環境問題について興味を持つように 話しかける時も手が震える程だった 一期一会の気持ちを持ち、 大学生活は、 と強い決意をもって高村さん けれど少しの時間も無駄に 大学時代の一歩が今 お話し好きな方な ただただ楽しんで 焦りを感じたそ 例えば大 そ の 先 出会っ

は一つの決意を胸にします。 「大学生活を有意義」にすると

の生き方、働き方につながったそうです。 安要素が多かったそうです。 あったのです。

い

の ま

がる。私生活では結婚して、 きたことがちょうど分かった時期で ばかりでした。そしてなんと子どもがで 働いていた会社よりも確実にお給料が下 の、立ち上がったばかりの勤め先は当時 職しました。はじめは当時の会社から今 勤める高村さんは 2013 年9月に 現在、 会社への転職にためらったとい 今の社長から声をかけられたも

どころか即答だったそうです。そうして 世の中は、正社員だから、大企業だから、 高村さんは転職を決心しました。 いうパートナーからの言葉。 たにその仕事合っている気がするよ」 不安があるのは同じだと気付きました。 うと、高村さんは思い、どこにいたって だと思っていることも簡単に揺らぐだろ ない。社会が変わったら、今自分が安定 す。何が安定で何が不安定なのかわから けではないことに気付いたからだそうで ということが必ずしも安定につながるわ そしてなにより背中を押したのは「い おも それでも決断したのは、 しろそう!それに、 反対される あな 今

転職 ^ の葛藤。

選んだ道は

- NC · に

らって生活をしているそうです。 人が活躍できる場所で、 す。 限界集落は 役割を与えても

# 無限の可能性に満ちている

げられることはたくさんあります。 若い松瀬さんだから出来ること、 してあ 代わ

ってこんな場所。

松瀬さんは限界集落という言葉が嫌い

ます。その他に農園や家の管理など若い ぶ為のイベントや広報活動に勤しんでい んな形にでも変わっていく素敵な場所で ちています。村は、一人一人の動きでど だと言います。「限界集落は可能性に満 松瀬さんは今、久多・宮の町で人を呼 なにも限界なんかじゃないんです。」

しかしたらこれから先、

松瀬さ

## 1h 40min

うです。 から生きる知恵を与えてもらっているよ りに松瀬さんは久多で暮らすご高齢の方

は訴えていました。 な悲しいことはありません、 たら先代の知恵が途切れてしまう、そん もし集落がこのままなくなって と松瀬さん しまっ

# これからの未来を見据える

感じているそうです。 集中型に拍車がかかりつつあります。 れを松瀬さんはできる範囲で止めてみた 、そこに松瀬さんの役割があるように 社会では村の人口が減り続け一極

松瀬萌子 まつせもえこ

1993年佐賀県生まれ。京都府立大学卒。大 学生時代は、侍カフェ&バー「士心」イン ターン、任意団体 PaKT にて活動。大学卒業 後すぐに、京都市の最北端に位置する人口約 80人の集落、久多・宮の町に移住する。社 会人一年目の現在、現地の仕事で働きながら、 PaKT のメンバーとして「村・留学」プロジェ クトや移り住んだ古民家の利活用を進めてい る。



に何の後悔もしませんと語る、 の選択でやって失敗するのであればそこ る可能性もあります。やれることを自分 久多で生活できなくなる事態が訪れ 松瀬さ

ざり ない。でもそれはそれでいい、後悔しな 目を輝かせて聞き入っていました。 いなく語る松瀬さんの生き方を参加者は いようにとことんやるだけです。」と迷 「5年後やはり田舎生活は嫌だとうん して東京に行くこともあるかもしれ

### 最後に

ر) ۱

メッセージです。 松瀬さんから幸せな人生を送る為の

歩踏み出す勇気をつけましょう。途中 「自分がやりたいことを口に出して、

> うか。 心地よく生きていけるのではないでし 踏み出す勇気さえあればみなさん幸せに めなければ何も始まらない。その一歩を であきらめてもいいと思います。 でも始

ば、社会全体が幸せになる。 地よくないことを少しでも心地よくして 言われるとそうで れるようになる。 いくことでみんなが幸せな生活をおく 私も今、 全てが幸せなことばかりか もありません。でも 小さな幸せが集ま 私は、み ιÙν

そうエールを送ってくれました。 なが幸せで心地よい社会を作っていきた 力を感じ移住を決意。 す。それから松瀬さんは、

瀬さんはとある活動を始めます。それは

「路上で人の愚痴を聞く活動」でした。

活動を通して、

自分だけではなく、

値があるのかもしれない、

そう感じた松

です。その出会いによって彼女の中で「価 和を真剣に願って居酒屋をはじめたそう て大きな転機となります。彼は世界の平

に変化が。お金ではないものに価

番役に立てる気がしたのが久多なんで

松瀬

村が多い中で、久多ではそうした活動は い、松瀬さんは久多を選びました。 何か役に立てるかもしれない、 行っていませんでした。ここなら自分も

に眠っていた感情の波が現れ始めたそう ます。そんな中、それまで松瀬さんの中 果的に大きく落ち込んでしまったといい さんの中に大きな負の感情が生まれ、結 語ってくれました。ですが一方で、 中で芽生えた時期だったと松瀬さんは を幸せにしたいという感情が深層意識の

を叶えられるような気もしたそうです。 たくない、 とに安心している、そんな自分にはなり いつのまにか引き、 また、 決められたレールを自分の中で 久多には自分が求める生き方 堅実に生きているこ

舎に住みたい。」というその時の自分の

感情の波の中で、

松瀬さんは「私、

 $\blacksquare$ 

生き方の答え

生き方の答えが見つかったと言います。

田舎に住みたいと考えたきっかけは本

当にささいなことで、

京都駅でお友達と

2日目の3コマ目は松瀬萌子さん。

いについて語っていただきました。

京都市の最北端に位置する人口約80人の村、 久多・宮の町で生活をする松瀬萌子さん。 限界集落と呼ばれる村で生活をすることに なった経緯や村で働くことの面白さややりが

> 回り、様々な集落を目にしたそうです。 決めるものではない、自分で決め自分で 揺らがなかった。」自分の生き方は親が 反対されました。それでも私の気持ちは その中でも松瀬さんは久多・宮の町に魅 責任をとる、と覚悟を決めていたからで 松瀬さんは話します。「もちろん親には なりたいと思ったからだそうです。 あちゃんを見ておばあちゃんとお友達に 待ち合わせしている時に通りかかるおば 「田舎に住む」という答えを見つけ 自分の中でテンションが上がったと 全国の田舎を

人口 30 人の集落に移住した 23 歳

の時に居酒屋を経営するおじさんと出会 えだと感じていた松瀬さん。大学3年生 に入りお金を稼ぐということがあたりま

いました。この出会いが松瀬さんにとっ

松瀬

萌子

学生時代はいい大学を出て、

いい企業

学生時代の松瀬さん

## 久多・宮の町に 移住した理由

「他の村をいくつか回ってみて自分が

集客を目指した村おこしを行っている

シェアビレッジは、秋田県にある築 33年の藁ぶき古民家を全国の村民で



男 武田さんは語ります。 ち上げ当初の60倍に。 ビジネスは軌道に乗り始め、 武田さんの を意識した別の農作物ブランドも現 農業のイメージが変わりつつあると 知識を生かした農業 近頃では「トラ 出荷量は立

行ったシェアビレッジについて話してい しての一歩を踏み出した武田さんが次に 農業の分野に足を踏み入れ、起業家と

ビジネスモデル 5

アビレッジ」を立ち上げようと考えたの 持に使用されます。なぜ武田さんは「シェ 「年貢」と呼ばれる年会費が古民家の 支えるという大プロジェクト。 でしょうか。

全国か

く響いていまし

維 5

にあるきっかけが訪れます。それは武田 さんの親戚のおじさんが所有する古民家 は何かないかと考えていた時、 の集客という本来の役割はまだ果たせな れるようになりました。しかし、 いまま。秋田への集客が増えるビジネス 「トラ男」はブランド米として認知さ 武田さん 秋田へ

いた古民家なんです。 「もともと親戚のおじさんが所有して おじさんから古民



2日間の最後を飾るのは武田昌大さん

ジネスの場を秋田に置こうとしたので 働いていた人が、ビジネスをする場とし 田の現状についてこう語ります。 るんですよ。」武田さんは笑いながら秋 立っていますがいい 数ワーストー位。とかワーストばかり目 しょうか。 ては疑問の残る秋田。なぜ武田さんはビ . 1 位、 facebookのユーザー ところもたくさんあ 東京で

田を意識していたと言います。 田がんばってるな」と心の中でいつも秋 の中に「自分も秋田の為に何かできない 車で秋田に関連する広告を見る度に「秋 された故郷への想いだったそうです。電 えていたそうです。 かな」という気持ちがいつの間にか芽生

# 2拠点ビジネスのはじまり

はじめは、ゲーム会社で働きながら週末

シェアビレッジ / 村長

武田

したいと思っています。」 こんな街を元気で活気あふれる街に

伝えていきました。」

年後の農業の形を伝え、

農業の将来像

農業について語れる人は少ない。僕は5

秋田ってどんなところ

それは、 東京で働いていた時に気付か 武田さん

そればかりを考えていました。

だって、

を何も知らない僕に協力してくれるか。

農家を探すことが大変だったそうです。

「どうすれば農家の人が、農業のこと

「僕の故郷は今、元気のない街なんで

だけ秋田でビジネスの基盤を作るという を図ることで高齢化の進む秋田の農業を は「米」でした。農業のイメージアップ 2拠点生活。秋田で始めたビジネスの元

「秋田は、訪れたことのない県ワー

そうです。 若手農家から活性化できないかと考えた ただ普通にお米を売っても誰も見向

りませんでした。どこに相談してもあま ち上げの道のりは決して楽なものではあ に踏み切ります。しか になることがほとんど。協力してくれる り乗り気にはなってもらえず、門前払い いうコンセプトでブランド米の立ち上げ ターに乗る男前が作る米=「トラ男」 もしてくれません。武田さんは、トラ し、ブランド米立

信しましょうとかって。」 ネット販売ですとか、SNSで情報発 見地の薄い農家の方にこれからの農業は 怪しいじゃないですか。—— につい れる農家の方は多いのですが、5年後 す。「過去行われてきた農業について語 の未来について語ることだったそうで 説得する為の会話の肝は、農業の5年 の

農業の未来を考えるという武田さん

思想に賛同してくれる若者が3人見つか しました。 りようやくブランド米「トラ男」は始動

### 武田昌大 たけだまさひる

1985年秋田県北秋田市生まれ。2011年 8月に起業。故郷秋田の未来に危機感を持 ち、若手米農家集団「トラ男」を結成し、米 のブランディングとネットショップを運営。 2015 年春クラウドファンディングで約600 万円の資金を調達し、築133年の茅葺き古 民家を活用した新ビジネス「シェアビレッジ」 を立ち上げる。



家を取り壊すという話を聞いてもったい なさすぎるという想いから立ち上げまし

た。

が、素敵な古民家を残す為にどうすれば り取り壊されるケースも多いようです というキーワードだったそうです。 よいかと考えた結果が「年貢」と「村民」 藁ぶきの家は維持費の捻出が困難にな

賞しました。 成功の証としてグッドデザイン賞まで受 浴びて事業が発展し、シェアビレッジは 武田さん。この戦略は多くの人の注目を ことで古民家にブランディングを行った て「年貢」、支える人を「村民」と呼ぶ 堅苦しい 「年会費」という言葉をあえ

秋田の 若手米龍家 右手米龍家

## 成功の秘訣は

でしょうか。 く武田さん。成功する為の秘訣はあるの 次々とブランディングを成功させて

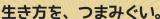
面白いといえることを形にすると人が集 れがビジネス成功の秘訣だと思います」 まってきます。人を楽しませる気持ちそ もらうことが大事。自分がかっこいい、 います。人の心に響かせること共感して か、ときめかせるかを考えて企画をし 「僕はいつもいかに人を楽しませ

だった武田さんの講義。武田さんの言葉 は、これから起業を志す 起業を目指す参加者の多さが印象的 人たちの心に深



今年も開催!











「LiFE BUFFET(ライフビュッフェ)」は、 NPO iPledge(アイプレッジ)が主催する、誰もが通える生き方教室です。

自分のやりたいことをやり続けている20~30代のゲストの、 これまでの生き方や今感じていることを聞きます。

そしてその場の全員で働き方や暮らし方、生き方について考える、 そんな時間をお届けしています。





①前田塁(株式会社 TABIPPO 共同創業者)

②戸高元太郎 (フォトグラファー)

③河野竜二 (LIFE DESIGN VILLAGE 代表)

OFF

①~トークセッション~3年後、僕たちは「東京」にいるのだろうか?

藤原正賢(株式会社 BAZUKURI 代表)・遠藤百合子(NPO 法人ふるさと回帰支援センター)

②粟津義博(Beach House Happy Go Lucky 代表)·粟津比奈子(逗子海岸営業共同組合理事)

③上野恭平 (ラジオディレクター / 構成作家 合同会社うさぎとかめ代表)

■日 時 11月26日(土)、27日(日) 1コマ90分から参加可能

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

■参加費 一般:社会人 1,500円/学生 1,000円 会員:社会人 1,000円/学生 500円

■主 催 NPO iPledge(アイプレッジ)

詳細・お申し込みは、 LIFE BUFFET 16ウェブサイトまで!







ライフビュッフェ





### オリエンテーション(説明会)開催概要

日程

11/17(木)、11/28(月)、12/7(水)、12/26(月)

時間

19:00~21:00

会場

NPO iPledge オフィス

東京都渋谷区神宮前 1-10-34-308 JR 原宿駅 徒歩 3 分

詳細・お申し込みは

ごみせいコナビケーション

HP∧!





ごみゼロ



発行元



◇LB 編集メンバー:

編集長 竹内亨 / 川嶋彩友美 / 北島ひとみ / 山口記世 / 林明代 / 西谷翔

◇デザイン:青木梨華

〉表紙:安達智美